

**もりもりランドを生かした実践**  
**出雲市立乙立幼稚園（島根県出雲市）**

自然豊かな乙立のよさを生かして教育活動の場の拡大を図る取り組み「乙立まなびの里創り」により、地域住民や諸機関等の連携を深める場にもなる「乙立もりもりランド」ができました。この「もりもりランド」(自然の中の基地)を生かした活動を進めました。

	子どもの活動(内容)	活動のねらいと年齢差に応じた支援
平成16年4月・5歳児4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>4歳児「もりもりランドってどんなところ？どこにあるの？」</li> <li>手をつないで行く。</li> <li>5歳児「案内してあげる」「一緒に行こう」</li> <li>散策する</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>もりもりランド付近の田んぼでたけのこを焼く。(小学校3・4年生と一緒に掘ってたけのこ焼きを共に体験する)杉の枯れ枝を山の上から田んぼまで何回も往復して運んで、火をつけてたけのこを焼いて試食する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「もりもりランド」を知り、自然に触れる。</li> <li>・話を聞いて期待しながら行く。(4歳)</li> <li>・案内することによって年長児としての自覚を持たせる。(5歳)</li> <li>・地形がわかり、草花、畑の作物に関心を寄せる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3・4年生と交流して親しみを持つ。</li> <li>・小学生の姿を手本にして行動する。</li> <li>・たけのこの焼ける様子を見て、匂い、感触、焼ける音、焼ける様子、味を感じる。</li> <li>・斜面を昇降することで筋力や平衡感覚を養う。</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面や田んぼのあぜ道でリレーをする。</li> <li>絵を描く。</li> </ul> (もりもりランドに愛着を持っていることがうかがえる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○斜面やあぜ道を走り、平衡感覚を養う。</li> <li>・狭い幅のところを落ちないように走ることによってバランス感覚を養う。</li> <li>○自然の中で感じたことを絵で表現し、豊かな心を養う。</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>付近の田んぼでオタマジャクシ捕りをする。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友だちと一緒にオタマジャクシ捕りをする楽しさを味わう。</li> <li>・オタマジャクシの生態を観察する。調べ学習に繋げる。(5歳)</li> <li>・オタマジャクシ捕りを通して筋力をつける。</li> </ul>
平成17年3月・4月・5歳児5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「もりもりランドに行ってみーか」「3歳さんも連れて行ってあげる」</li> <li>昨年度に種を蒔いたレンゲを見つける。</li> <li>ひなたと日陰の気温の違いを身体で感じる。</li> <li>心地よい風や小鳥のさえずりに耳を傾け心地よさを感じる。</li> <li>白いアザミとヘビ3匹を発見！</li> <li>田んぼでオタマジャクシ捕りやカエル捕りをする。</li> <li>あぜから飛び降り競争をする。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○もりもりランドを自慢したり、案内されたりして、混合学級の友達意識を高める。</li> <li>・案内することによって年長児としての自覚を持つ。(5歳)</li> <li>・地形が分かり、草花、畑の作物に興味関心を寄せる。</li> <li>・新入児をいたわる気持ちを養う。(5歳)</li> <li>・目的地までがんばって歩き、体力をつける。(3、4歳)</li> </ul>

6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桑の実の様子を見に行く。(2日目)</li> <li>・先日行ったときと桑の実の色の違いを発見!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○桑の実の感触や色で食べ頃を判断する。判断力を養う。</li> </ul>
<p>・5歳児「黒くなってー」「黒いのは食べられーが」</p> <p>・昨年の体験をもとに躊躇することなくとって口の中へ、「あまーい！」と満足そうな表情</p> <p>・その姿を見た3歳児が「これ、たべられー？」と5歳児に聞く。「黒いけんたいじょうぶ！」と自信のある返事を返す。「手や口が紫色になーがー！」</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・触ったり目で見たりして選択する力を養う。(5歳)</li> <li>・年長児を見て、危険のないように桑の実を味わわせる。(3、4歳)</li> </ul> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰る途中に側溝に流れている水の量が増えているのに気づき、ズックのまま水の中を歩きながら帰る。</li> </ul> <p>「気持ちがいいー！」 「前より水がいっぱいあーがー！」 「へびが流れてくるかなー？」 「流れが速いわ！」 「葉っぱも一緒に流れとーわ！」 「田んぼの中にオタマジャクシがいっぱいおーわ！」 「水が冷たくないわ！」</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○水温と気温の関係を肌で感じ、感覚を養う。</li> <li>・3歳児には個々の経験等を配慮して活動をさせる。</li> </ul> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あり地獄発見!</li> </ul> <p>「あっ、あり地獄だ！」 「どこ?どこに?!」 「こんなとこに…!?!」</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○発見したものを「何のためにあるか」「どうして、このようになったか」など考え、調べる。</li> <li>・発見したものに興味を持つ。(3・4歳)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テントウムシのさなぎ発見!</li> </ul>	<p>「これ何？」 「テントウムシのさなぎだよ」 「ふーん?!」 「いつ飛ぶ？」 「わからん？」 「おとなになるのはいつだーか？」 「?????.....」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発見したものを友達と一緒に興味を持って見たり意見を言い合ったりする。(5歳)</li> <li>○図鑑で名称を調べる。「かたら」の葉は乙立町内の名称であることが分かる。知識を養う。</li> </ul> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かたらの葉を採る。</li> <li>・サルトリイバラ、サンキライという名称があることがわかる。</li> <li>・蒸すと色に変色することを知る。</li> </ul>	<p>「茶色に変色したね」 「まだ、緑のところが残っちゃーわ！」</p> 	

**ポイント**

地域の環境を生かして活動を重ねることで、平成16年度、17年度では、子どもたちのかかわりや言葉が大きく変容していることが、伝わってきます。16年度の経験があることで、翌年は同じような環境でも、感じたり気づいたりしていることが広がったり深まったりしています。桑の実の場面では、経験が知識となって、自然へのかかわりに生きています。あり地獄やテントウムシを見つけて、「なに?」「どこ?」「どうなるの?」など、疑問や興味をもち、見たり考え合ったりする姿が引き出されています。「かたらの葉」というその地域環境ならではのものに興味を持ち、調べたことで、今後もこの環境からさらに知りたいことが膨らんでいくことが期待できます。「豊かな自然」になっていることが分かります。